PRESS RELEASE



2023年1月17日

報道機関 各位

「原子力災害復興学セミナー」を開催

~長崎大学福島未来創造支援研究センター~

長崎大学 福島未来創造支援研究センター(センター長 高村 昇 教授)は、本年1月25日に「原子力災害復興学セミナー」を開催します。

政府は、東京電力福島第一原子力発電所で発生した原発処理水の海洋放出について、1月13日に「今年の春から夏頃になる見通し」とする方針を固め、その動向に関心が集まっています。そのような中、本セミナーは、全国の自治体職員および原発関連職員を対象とし、放出される処理水への理解を深めていただくことを目的として開催します。これにより、処理水放出に伴う住民の不安に正しく答えることが出来る職員の育成に貢献することを目指します。

▶セミナー概要

・対 象:全国の原発立地地域を中心とした自治体および関連企業職員

・方 法:オンラインによるライブ配信

・参加費:無料

・会 場:東日本大震災・原子力災害伝承館より配信

· 日 時:1月25日(水)13:00~15:10

・主 催:長崎大学福島未来創造支援研究センター

▶内容

13:00~13:05 開会のあいさつ

13:05~13:55(40分講義・10分質疑)「放射線被ばくと健康影響」 長崎大学原爆後障害医療研究所教授/福島未来創造支援研究センター長 東日本大震災・原子力災害伝承館館長

高村 昇

14:10~15:00(40分講義・10分質疑)「東京電力福島第一原子力発電所の廃炉と処理水」 経済産業省資源エネルギー庁 福島第一原子力発電所の廃炉・汚染水・処理水対策官 廃炉・汚染水・処理水対策担当室現地事務所参事官 木野 正登

~15:10 閉会のあいさつ

▶申込について

既に受講者対象者の申し込みは締め切りとなっていますが、関心のある方は下記までお問合せ下さい。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学

福島未来創造支援研究センター E-mail: fukushima@ml.nagasaki-u.ac.jp 095-819-7098